



編集/発行 小田原市立図書館 小田原市城内7-17 TEL0465-24-1055
 かもめ図書館 小田原市南鴨宮1-5-30 TEL0465-49-7800
 e-mail: tosho@city.odawara.kanagawa.jp

寒い冬を図書館で過ごそう!



◇ 第30期図書館協議会の委員決まる!

図書館協議会は、「図書館の運営に関し、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関」です。本市の図書館条例では、10人以内で任期2年と定め、社会教育や学校教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者及び市民の中から教育委員会が任命しています。第30期(H24.10.1~26.9.30)の図書館協議会委員には次の方々就任いただきました。

第30期小田原市図書館協議会委員の方々(敬称略)

委員長	宮崎 淳子	副委員長	内田 昭
委員	中田 貴士	委員	柴田 敏勝
委員	大塚さとみ	委員	野口 武悟
委員	廣澤登美江	委員	星崎みゆき
委員	石川 高一		

◇本のりさいくるフェア 開催

今年も「かもめ図書館フレンズ」と「小田原の図書館を考える会」の皆さまのご協力により、図書館で不用になった本や雑誌を無料でお持ちいただく「本のりさいくるフェア」を開催します。

日時: 2月24日(日)

9時から16時(本がなくなり次第終了)

場所: かもめ図書館 2階集会室・創作室

※ 当日は大変混雑が予想されます。
 来館の際は公共交通機関をご利用ください。

◇ 第6回読書活動推進講演会

「子育てに絵本を」~子ども達に生きる力を~
 絵本のみよみかせは、子どもの発達にどのような効果を示すのか。長年家庭文庫の運営や地域での子育て支援に関わられた経験を持つ「山崎 翠さん」を招き、講演会を開催いたします。

【日時】2月8日(金)

午後1時30分~3時30分

【講師】山崎 翠さん(和光大学非常勤講師)

【開催場所】かもめ図書館 こどもクラブ室

【定員】40人・先着順

【申込】1月15日(火)から

【対象】関心をお持ちの方

【申込先】かもめ図書館



◇ 雑誌スポンサーになりませんか?

図書館では、雑誌コーナーの経費削減を図るために、雑誌スポンサーを募集しています。雑誌の購入費用を負担していただき、雑誌カバーの表面にスポンサー名称、裏面と雑誌配架棚にスポンサー広告を掲載させていただく制度です。詳しくは、図書館ホームページをご覧くださいか、職員にお問い合わせください。

※現在のスポンサーさん

『横浜ウォーカー』 株式会社カミケン

『ベビモ(baby-mo)』 baby&kidshoneybee

どうもありがとうございます。

◇ 図書館総合歴史講座「雨宮伊之助の人と作品」

小田原出身の作曲家・雨宮伊之助は、数多くの校歌やコンクールの課題曲を作曲するなど、幅広い足跡を残しました。この度、残された資料が整理され、作品集が発行されたことをきっかけに、小田原ゆかりの作曲家である雨宮の業績や人となりをもとに紹介する講座を開催します。
 ふるってご参加ください。

*詳細は広報「おだわらいふ」などをご覧ください。

◇ かもめファミリー映画会

お休みの日に家族みなさんで楽しめる題材の映画を上映します。

【日時】2月2日(土) 午後2時～

【場所】かもめ図書館視聴覚ホール(先着順:120名)

「森は生きている」(1956年49分)

吹雪の森にマツユキ草が咲く…春待つ北国のファンタジー

※ 上映の日は駐車場が込み合いますので、公共交通機関をご利用ください。

◇ セピア色の写真展 2013

-高度成長と小田原-

毎年ご好評をいただいている「セピア色の写真展」を今年も開催します。

昭和20～30年代の人々の生活を収録したフィルム「小田原よいところ」を紹介いたします。高度成長で大きく変わる小田原の様子をカラー写真でお楽しみください。

2月4日(月)～2月17日(日)

9:00～17:00 かもめ図書館

3月21日(木)～3月29日(金)

小田原市役所2階ロビー



(ゾウのウメ子)

◆ 本の予約状況(12月2日現在)

◆ 本の予約状況(1月4日現在)

順位	書名(著者名)
1	ナミヤ雑貨店の奇蹟(東野圭吾)
2	舟を編む(三浦しをん)
3	虚像の道化師(東野圭吾)
4	ソロモンの偽証 第1部(宮部みゆき)
5	白ゆき姫殺人事件(湊かなえ)
6	禁断の魔術(東野圭吾)
7	空飛ぶ広報室(有川浩)
8	64(横山秀夫)
9	鍵のない夢を見る(辻村深月)
10	サファイア(湊かなえ)

※お願い:上記の本をお持ちで、読み終えてご不要になられた方は、ぜひ図書館にご寄贈ください。



文学資料の周辺

福田正夫

福田正夫という人をご存じでしょうか。福田は小田原出身の詩人で、民衆詩派と呼ばれた潮流の中心的存在でした。

明治26年(1893)に小田原町十字(現・小田原市南町)で生まれた福田は、教員をしながら処女作品集『農民の言葉』を出版しました。

大正7年(1918)には同じく小田原出身の詩人・井上康文らと雑誌『民衆』を創刊しました。「われらは郷土から生まれる。われらは大地から生まれる。われらは民衆の一人である。」という言葉に表れているように、『民衆』は、それまでの文学を見直して新しい民衆芸術を作り出そうとしました。当時は大正デモクラシーの中で個人が重視される風潮が強まっており、福田らは民衆詩派として注目されました。

城山公園の一角には民衆碑が建立されており、福田の足跡を今に伝えています。

小田原文学館では、「無尽蔵プロジェクト文学のまちづくり」の一環として、3月に

「生誕120年 郷土の民衆詩人 福田正夫」と題して西海子サロンを開催する予定です。

ご期待ください。



◎参考文献

『小田原市史 通史編 近現代』

◇ 情報発信コーナー/企画展示(市立) 企画展示のコーナー(かもめ) ◇

市立図書館(児童)

- 1月 ふしぎな日本語
- 2月 桃の節句(おひなさま)
- 3月 世界のおはなし

かもめ図書館(一般)

- 1月 新島八重
- 2月 経済、節約
- 3月 何度でも読みたいくなる本

かもめ図書館(児童)

- 12・1月 冬・いろいろなお仕事
/むかしばなし
- 2・3月 おでかけ
/いろいろな動物